

水災対策の商品が人気 契約約20万件に

少額短期保険ハウスカード

大東建託グループの少額短期保険ハウスカード(東京都港区)では、少額短期保険の伸びが目覚ましい。保有契約数は2020年3月末時点で19万8000件。16年3月

末8万2000件、18年3月末14万5000件と

右肩上がりに成長している。メニューサーはグループで管理する賃貸物件の入居者およびオーナーだ。好調の背景は、代理店

店数は仲介会社を中心に797店。代理店が同社の商品を採用する確率は、2018年1年間の実績で13.4%だったが、19年には17%まで上昇した。

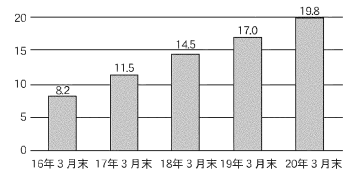
もう一つは契約手続きの手間が少ないこと。『新リノベーション』は17年6月の発売当初からスマートフォンによる申し込みに対応しており、その利用率は20年3月末時点で78%さらに、19年7月から

代理店の中で採用率が上がっている理由は三つ。一つは水災に対する補償が充実している商品を取りそろえていること。ある保険では家財、費用、賠償の3つの補償がセットになっており、床上浸水等の水災でも減額なしで家財保険金額まで補償する。二つめは入居者が死亡した際は、家主が費用補償の請求を行うことができることだ。

「引き続き、スマホでの契約をはじめとする保険業務のペーパーレス化や非対面化を進めること

【加入者数の推移】

単位：万人



で、コロナ後の新たな生活・ビジネスの様式にマッチしたサービスの提供を実現し、入居者や代理店に選ばれる率を高めていく」と西村副夫執行役員は意気込みを語った。